

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第1回議事メモ

分科会	第3分科会(高齢者)
コーディネーター	石井 聡
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2020年 12月 12日(土) 14時 15分から 16時
場所	バンビオメインホール
その他	参加者数 <u>20名</u> 欠席者数 <u>7名</u>

趣旨・概要

- 自己紹介(名前、住んでいる地域と年数、どんな人か、テーマについて一言)
- テーマについて
- 住んでいる地域の課題について
- 会長・副会長の選出

総括

コーディネーター総括

- 長岡京市では他の自治体と比べて高齢者の課題が少ないようで、高齢者のテーマにこだわらず、地域の話を中心に話を進めた。人間関係が希薄になっており、隣近所の関係性が薄くなっているのではないかという議論から、行事をきっかけにして人と人との繋がりができて自治会の加入に結びつくという意見が出た。
- 長岡京市では、一人暮らしの高齢者の問題以外に、あまり課題となっていないように思われる。他所だったら、「高齢者の足がない」とか、「高齢者の集まる場所がない」とかそういう方向に行くことが多い。

主な論点

論点① 高齢者というテーマについて

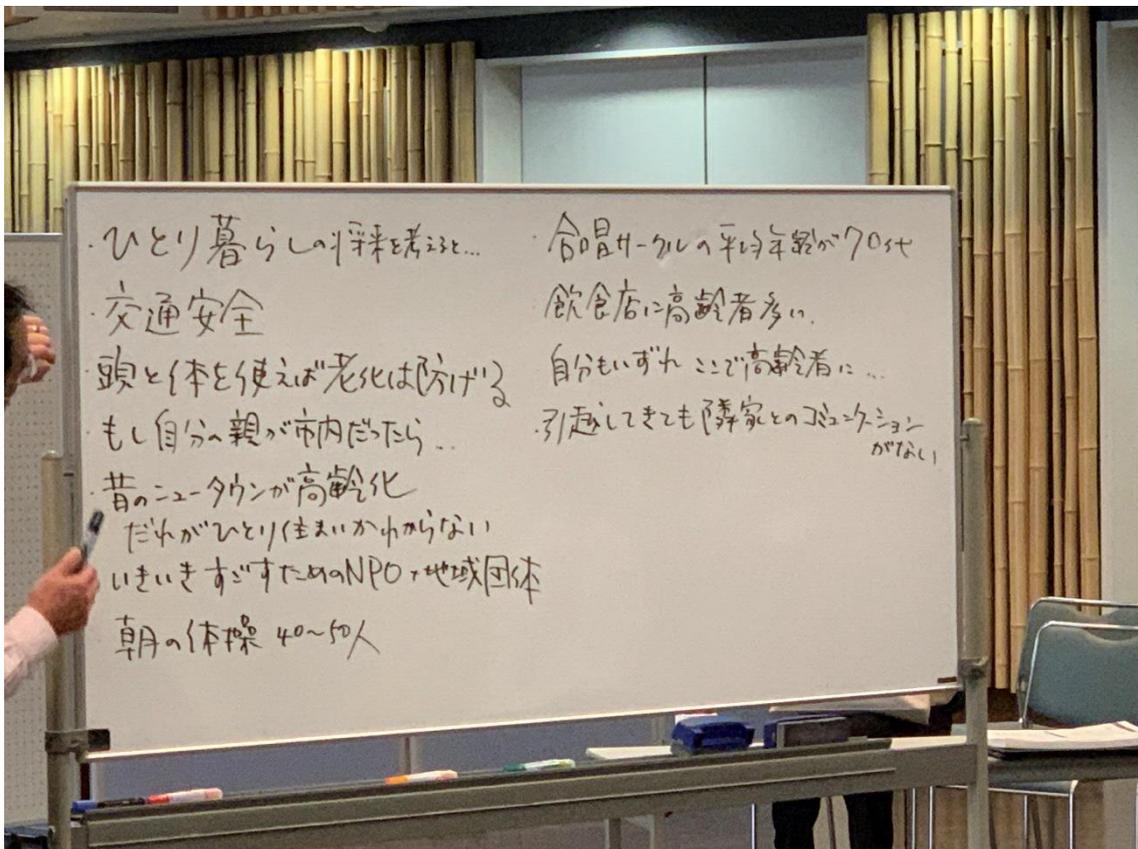
- ・主たるテーマは「地域団体の役割と連携」具体的な話をする補助線として「高齢者」というテーマを設定している。

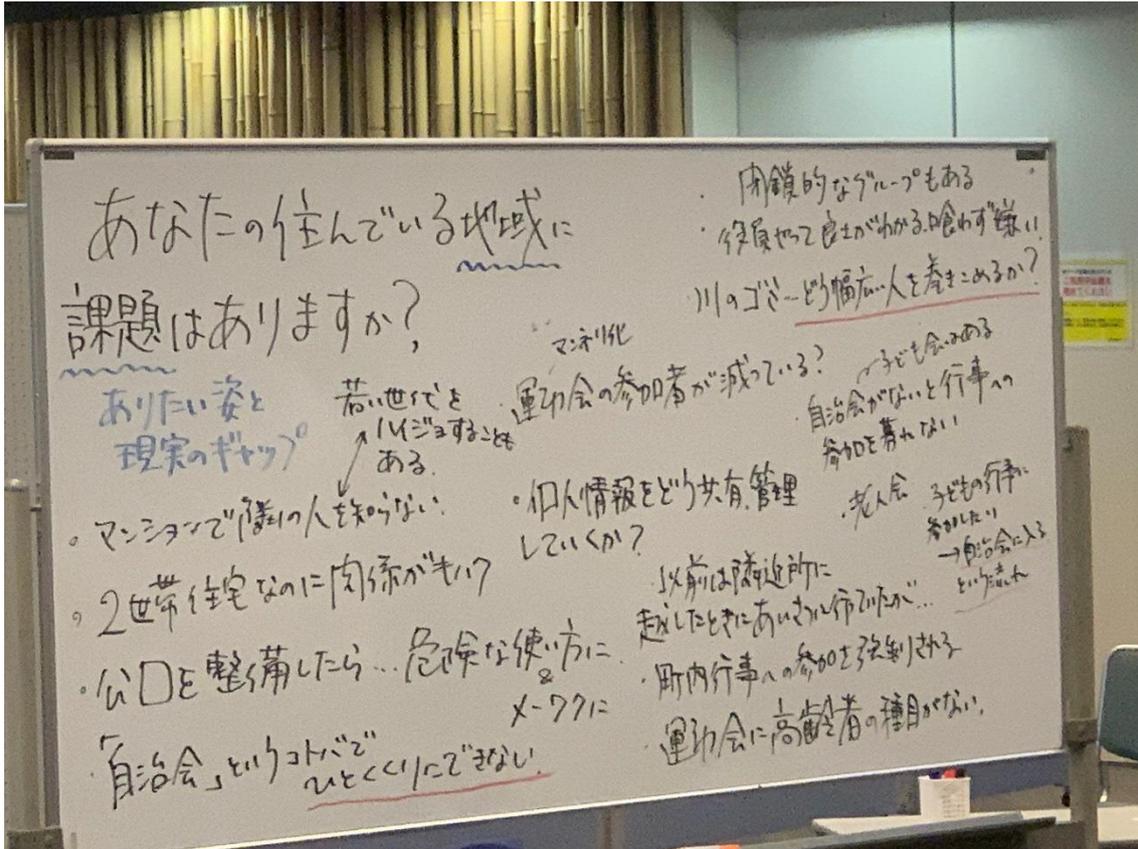
論点② 高齢者に限らず、感じている地域の課題について

- ・人間関係の希薄化とプライバシーの問題。
⇒自分の情報を出したくないという人もいる。

- ・公園の利用 地域の人が意図しない使い方をされる方がいる
- ・地域の運動会に人が出てこない マンネリ化?
- ・自治会に入ろうと思っても排他的な風土がある。
ごみ捨て場や子供会を別にされた。
- ・新しく住まれた方と昔から住まれている方が混在している地域は自治会の運営が難しい。新しい方と古い方を繋ぐつなぎ役が必要。古くから住んでいる人と新しい人との分断がある。ここの融合が課題。
- ・自治会に入らなければ、子供会に入れなかったというルールを作ったら、自治会にも加入してもらえるようになった。

ホワイトボードの写真





協議の流れ

コ) 今日は自己紹介と、全体会で発表していただく 3 班の会長・副会長を決めるところまで行いたい。自己紹介では 4 つお話をしてもらおう。名前、お住まいの地域と年数、あなたはどんな人か、テーマ (高齢者) について一言。

自己紹介

今後の進め方とテーマについて

コ) 会議は全て出席しなければいけないわけではない。また 1 回休んだら話が分からないということはないように配慮する。皆さんの自己紹介を聞いていて、「高齢者」というテーマがピンとくる人とそうでない人がいたように思う。なぜこのテーマを設定したかについて説明する。先ほどの全体会の構想日本資料スライド 11 枚目を見ていただきたい。このような場で皆さんにお話をしていただくときに、テーマを分ける場合とそうでない場合がある。分けるのはあらかじめゴールが決まっている、行政の全体の計画を作らなければならない場合。道路や福祉など内容が多岐にわたるためテーマを分ける必要がある。今回は全体を網羅したものを作るわけではないので、テーマを分けることは必須ではなかった。今回は「地域団体の役割と連携」が

メ): 分科会メンバー、コ): コーディネーター、P): 市 PT、市): 説明担当者

主たるテーマ。地域で皆さんがどう暮らしたいのかがメインテーマだが、メインテーマだけだと話が具体的にならず、展開していかないので、考える補助線・ツールとして「高齢者」というテーマを設定している。主たるテーマに沿っていれば「高齢者」というテーマから脱線してもよい。例えば団地で、新しく入ってきた若い世代と高齢者のギャップが問題になることがある。子どもの遊び場がなくて道路で遊んでいると、市役所に苦情が入る。これは子どもの問題か高齢者の問題か微妙だが、地域の問題であるのでオッケー。高齢者に関わることしか話してはいけないということではない。また今回は4つのテーマごとに班を分けているが、なぜそれぞれのテーマになったかをお話する。小学校区ごとの地域コミュニティ協議会について、市が考える役割が主にこの4つであるということだったので、設定した。今の長岡京市の現状で、地域に期待することとしてこの4つのテーマに関連するものが多いのではないかと市役所側は考えている。皆さんの生活の実感と合うかは、お話を聞いてみないとわからないが、議論を続けていくなかで新たな課題が見つかるかもしれない。テーマの振り分けでがっかりする必要はない。

事務局自己紹介

自己紹介で出た意見と改善提案シートについて

コ) 皆さんからのお話をホワイトボードにざっと書いた。高齢者の一人暮らし、高齢者の交通安全、医師の立場から頭と身体を使えば老化を防げる、市内に親がいたらどうかを考えたい、ニュータウンの高齢化問題。私は神奈川県逗子市(鎌倉市となり)から来ているが、まさにこの問題が起こっている。誰が一人住まいか分からないという話もあった。近所の人に知ってほしいけど、知らせるのは難しい。地域でNPO団体を立ち上げている方もいらっしゃる。朝の体操を地域でされている方、合唱サークルの平均年齢が70歳。このまちで元気に楽しんでいる方が多いのは良いこと。アルバイトで勤めている飲食店に高齢者が多いという生活の実感。今日は若い方が多いので自分ごと化しづらいかもしれないが、いずれ自分もこのまちで高齢者になると考えれば、この地域をどうしたいかというのも大事な視点になってくる。引っ越してきても隣近所とのコミュニケーションがない。こういったきっかけがないと自治会に入ろうとはなりにくい。自治会加入率の低下はこういったところから生じているのかなと思いつながりながら聞いていた。こういった話を地域に引き寄せて考えていきたい。資料の中に改善提案シートが入っている。地域でどんな課題があるのか、どうやってその課題を解決したらいいのかを書いて提出していただく。今日は書ければよい。課題だけでも書いてもらえれば。次回以降市役所の担当者から現状を説明することも予定している。人数が多いので、1回の会議で2回ほどしか発言できないかもしれない。発言だけでなく、書いて提出していただくことも重要になる。今までの内容で質問はあるか。

メ): 分科会メンバー、コ): コーディネーター、P): 市PT、市): 説明担当者

- メ) 書いて提出したら、返してもらえるのか。
- コ) 頂きっぱなしになる。シートは毎回お配りする。提出すると自分が何を書いたか分からなくなるので、必要な方は他の紙にメモなどをお願いしたい。
- メ) テーマは何でもいいのか。
- コ) 地域の課題であれば何でもよい。皆さんそれぞれで違うはず。課題がないということもあるかもしれない。または課題に気付かないということも。課題とは何かについてもお話しておく。例えば、引っ越してきて隣とのコミュニケーションがないということを課題と考えるのは、コミュニケーションをとっているという理想と、現状そうっていないというギャップがあるということ。このギャップが大きいほど、課題が大きいと考えてもらえればよいと思う。課題がでてくるということは理想やこうなってほしいという思いがあるということ。ではここで5分間休憩を。

～休憩～

住んでいる地域の課題について

- コ) あと30分ほどあるので、フリートークの時間を取りたい。テーマについて腑に落ちていない方が多いので、質問の仕方を変えて、お住まいの地域に課題はあるかを聞いていきたい。地域という範囲は、隣3軒以上市全域までとしたい。
- メ) マンションに住んでいるが、隣の方のことをよく知らない。
- コ) 知りたいと思っている？
- メ) そこまで知りたくはない。
- コ) 民生委員の立場で何かありますか。
- メ) 民生委員は皆さんがご存知ないような個人情報がたくさん持っているが、関わっていない人は、お隣さんのことも知らないことが多い。民生委員は情報を持っていても、それ以外の個々人は知らないことが多い。情報の伝わり方が立場によって違う。
- コ) それはいいことなのか、悪いことなのかどちらでしょうか。
- メ) いいこと半分、悪いこと半分。私が住んでいる地域の課題としては、2世帯住宅なのにも関わらず親子の関係が希薄になっている。昔は家庭内で解決できていたことが、コミュニケーションが取れないことでうまくいかなくなっている。
- コ) 先ほどからコミュニケーションの話が多いですね。
- メ) 下海印寺の公園はほこりがきついということで行政にお願いして芝生を張りきれいにしてもらったが、そのことで子どものサッカー利用が増え、周りの金網がいがんでしまった。きれいにしてもらったのに、意図しない使い方をする人が増えた。
- コ) 使っている子どもたちは地域の子？
- メ) 色々。
- コ) 公園は公のもので誰もが使えるもの。地域の方がきれいにしてくださっているが、地域の方が思われているのとは違った使い方をされて、結果的に迷惑になったり危険であると。地域の方とサッカーをやる方の立場が違うので、ここをコミュニケー

ションで埋めていかないと喧嘩になる。課題を当事者で共有しないと役所がすべて調整しないとイケなくなる。

- メ) 先ほど、隣近所の方の情報を知りたいかという問いに、そこまで知りたくはないと答えていた方がいたが、逆に自分の情報を知られたくないという方もいるはず。プライバシーの問題もある。年代や個人の感覚によるが、知りたいと思う人もいれば、知られたくない人もいる。隣近所にどんな人が住んでいるか分からないというのは危ないと感じる人もいる。なんのためにこの情報が必要かという目的がしっかりしていないと、情報を出せないという人はいると思う。この差は人によってバラバラだと思う。
- コ) 私は市役所で自治会や町内会を担当しており、不動産屋などから〇丁目の自治会長を教えてくださいという問い合わせがある。うちの市の場合は教えてもよいと承諾をいただいた方しか教えることはできない。当番制だから教えなくていいという地域もあれば、自治会長から電話するので電話番号を聞いてくれとおっしゃる方もおられる。名前と電話番号でもそうなので、さらに詳しい情報を知られることに抵抗がある方は多いと思う。高齢者が一人であるという情報は悪質な訪問販売などに悪用されることも考えられる。難しい問題。地域で気持ちよく暮らしていくにはそこを乗り越えないといけない。
- メ) 私が大学生くらいの頃は、引っ越すと隣に挨拶に行ったが、そういう状態ではないのかなと思った。もう一つ、私は自治会に入っているが、同じ組の方がほとんど80歳以上。地域の運動会などがあると絶対出てくださいと言われる。妊婦だったときにも言われた。高齢者が多い地域は負担になっていると感じる。
- コ) うちの市のとある地域は、運動会をやっている団体が子供会の運営もやることになった。年1回の運動会をやりたいが、子どもに来てもらわないといけない。子どもに来てもらうためには子供会がなくてはいけないということらしい。
- メ) 個人情報の問題は長岡京市だけでなく全国共通の課題だと思う。以前体振をやっていたが、運動会に高齢者は全然出てこない。マンションが新しくできているが、そこに住んでいる人もほとんど出てこない。地藏盆のほうが出てくるかも。とにかく選手集めが大変。
- メ) 運動会以外の楽しみが増えてきた。
- メ) 私の姉の地域では、何軒かが一斉に建て替わって子ども連れの家族が引っ越してきたときに、挨拶に行っても昔から住んでいる方は排他的であると聞いた。ごみ捨てや子供会を別にされることも。若い世代で入りたくても入れない状況もある。
- メ) 治会がない地域もある。自治会がないと運動会の参加者などを募る手段がない。やはり自治会か、その機能を担う団体は必要だと思う。子供会はPTAの方が熱心にやられているので続いている。老人会もなんとか続いている。とにかく人集めが大変。人を知らないから探すのが難しい。
- メ) 先ほど新しく来た方に排他的であるという話が出たが、高齢者のなかでもそれがあ

ると感じる。新しい人がグループになかなか入れない。幅広い人に参加してもらうために企画した行事なのに、結果的に同じ人ばかりという状況がある。

- コ) 私は仕事で生涯学習も担当している。例えば10年前に作られた団体が当時は60代20人だったのが、15人、10人と減ってきて仲間が増えない、後継者がいないというケースがよくあるが、誰でも入れるようにオープンにしていけない場合がある。これは当然の結果だと思う。サークルだったら閉じていても問題はないのかもしれないが、地域の活動をしている団体なのであればオープンにする柔軟さや寛容さがないと先細りしていく。世代が大きく離れていなくても起こりうる問題だと思う。
- メ) 自治会の立場からすると、新しく引越された方には自治会加入の呼びかけや行事の参加の声掛けはしている。でも来てくれない。最初は敬遠していても、班長をして運営に携わることで楽しさに気付くこと方もいる。閉鎖的で入らないというケースもあると思うが、排除していなくても、食わず嫌いのような感じで敬遠されることもある。
- コ) 役員をして初めて良さが分かるのは少しもったいないなと感じた。役員は何年に一度くらい回ってくるのか。
- メ) 班の構成メンバーにもよる。一班10~15人くらいなので、10~15年に一度くらい。
- メ) 現在川の近くに住んでいるのだが、川にごみが捨てられる。地域で定期的にごみ拾いの活動をしているが、たちごっこ。理想はごみ拾い活動をしなくてもきれいな状態が保たれることだが、そうはなっていない。活動などに参加している方はルールを守り、積極的に考えている方だが、そうでない人をどうしたら巻き込めるかが課題。自分には関係ないと思われるという意味がない。
- メ) 行事の参加者が減っているという話があったが、運動会のマンネリ化も原因なのではないか。私の住んでいる地区でも運動会があるが、毎年同じ内容で、小学校の6年間は参加し、それ以降は参加していない。
- コ) 運営している側がずっと変わらないからかもしれない。私は仕事でスポーツも担当していて、スポーツ推進委員とのお付き合いがあるのだが、70代の方が多い。定年後に始めたのではなくて、30代くらいからずっとされている。どうしても新しい動きになっていかない。
- メ) 運動会は知らない人も集まってくる。そういった方と話す機会にもなる。
- メ) 自治会のなかでも、歴史や背景などに差があり一括りにはできない。長岡京市になってから開発が進んだところは、新しい人が中心になった組織になっている。新しく住まれた方と昔から住まれている方が混在している地域は自治会の運営が難しい。私の住んでいる地区がまさにそういった地域。自治会の役をやっているのだが、新しい方と古い方を繋ぐつなぎ役が必要。自治会の運営はやはり古くから住んでおられる人達が主となっている。自治会館の土地や建物は昔の人が出し合ったものだし、神社の氏子もそういった人が担ってきたもの。新しい人との分断がある。ここの融合が課題。

- メ) 小さい子どもが行事を見て自分もやりたいと言えば、親はさせてやりたいと思うはず。自分の地域では自治会に入らなければ子供会に入れられないというルールを作った。外から来た方でも自治会に入ってください。言い方は悪いが子どもをダシにしている。そしたら高齢者も出てくる。
- コ) そういった事例はほかの地域にも共有されているのか。自治会には地域差もあるという話があった。うちの市は極端で、回覧板もない自治会もあれば、福祉部、防犯部、防災部、環境部があり、子供会まで何でもやっているところもある。情報の共有がなされれば運営がうまくいくかもしれない。

会長・副会長の選出

- コ) 全体会で分科会の議論内容を話していただく会長と、その会長が不在の場合に話していただく副会長を決めなければいけない。立候補はあるか。
- メ) できれば若い人にやってほしい。
- コ) 若い人のほうが皆さんよく話を聞いてくれる傾向にある。若い人の話を聞く機会はあまりないので。
～ 会長・副会長 決定 ～
- コ) 今日の分科会はこれで終了。改善提案シートとアンケートの提出をお願いしたい。

次回の分科会に向けた準備

次回の分科会の目標

- 参加者の中で、自治会の役割の認識に大きな違いがある。その多様性が全体的に比較できるような資料を用いて議論を進める。
- 「自治会ってひとくくりじゃないよね」というように、みんなが同じ絵を見ていない様子であったので、今回はその辺を深掘したいと思う。

次回の分科会に向け準備する資料等

- 市が把握している範囲で、自治会がどのくらいのバリエーションがあるのかという資料を用意してほしい。例えば、ある自治会は回覧板しかやらないが、ある自治会は敬老会から見守りから何でもやっている。そういう違いがわかる資料で、説明をお願いしたい。
- 全体の見取り図のようなものを出したい。例えば、「回覧はこの自治会は週に1回です」とか「月に1回です」とか、粗くて構わないので、バリエーションをいくつか出してもらいたい。できればそのバリエーションごとの割合もわかればお願いしたい。併せてそこに老人会と子供会がどうかかわっているか。また、地域の運動会の話でも盛り上がったので、その辺の実情も知りたい。行事をきっかけにして人と人とのつながり

メ): 分科会メンバー、コ): コーディネーター、P): 市PT、市): 説明担当者

(様式3)

ができて自治会の加入につながっているという話が結構出たので、行事が下火になって自治会の加入も下火という可能性もありうる。

備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)

メ) : 分科会メンバー、コ) : コーディネーター、P) : 市 PT、市) : 説明担当者